ライフイベント表、キャッシュフロー表を作ってみよう

ライフイベント表の書き方

1. 西暦と経過年数を記入し、将来どうなっていたいかを考える。
2. 自分の名前と年齢、年に合わせて想定する家族構成などを記入する。
3. 年に合わせて人生の節目となる、大きな支出を伴うライフイベントを記入する。
   例）結婚、転職、住宅購入、子どもの誕生や進学、自動車購入、旅行、退職、起業など
4. 個々のイベントを実現するために必要な金額を調べる。

キャッシュフロー表の書き方

1. 収入欄を作成。給与は手取り金額を記入する。
2. 支出欄を作成。基本生活費（食費、光熱費、通信費、被服費など基本的な家計支出）、住居費、教育費、保険料、旅行・帰省・交通費などを記入。車の買い替えなど大きなライフイベントにかかる費用は、一時的な支出としてまとめて記入する。
3. 年ごとに「年間収支（収入合計－支出合計）」の金額を算出し（収入より支出がオーバーした場合はマイナスの金額）記入する。
4. 年ごとの貯蓄残高（前年の貯蓄残高＋その年の年間収支の金額）を算出し記入する。
5. 年間収支がプラスか、貯蓄残高が増えているか、などをチェックし、マイナスが続くようであればキャッシュフロー表を見直し、必要に応じてライフイベント表も再考しよう。

よりリアルな金額は下の調査で調べてみよう!

生活にかかる費用は?
→総務省「家計調査」単身勤労者1世帯当たりの月平均収支

初任給はどのくらい?
→厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

Column

ライフイベント表で未来を予測してみよう〈3世代Ver.〉

将来をイメージする第一歩として、自分を含めた3世代のライフイベント表を作ってみましょう。

例えばB夫さんには父と母、離れて暮らす祖父と祖母がいます。家族を書き入れることで、自分が25歳の年に父親が60歳で定年を迎える、27歳の年には祖父が米寿（88歳）を迎えるからお祝いしてあげたい…などと考えることができます。「子どもができる頃、父母はまだ若いけれど、祖父母の介護をしていて孫の世話まで手が回らないかも」といった想像や準備もしやすくなります。

B夫さんの家族の例

西暦	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年	20XX年
経過年数	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
B夫さん	19歳	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
父	54歳	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
母	48歳	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
祖父	80歳	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
祖母	76歳	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86
ライフイベント		祖母:喜寿			卒業・就職		父:定年		祖父:米寿	転職	結婚

何歳まで働くのかな?

介護が必要になる頃?

自分の名前を記入しよう!

西暦	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
経過年数		1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
	歳										
	歳										
	歳										
	歳										
	歳										
ライフイベント											

ライフイベント表＆キャッシュフロー表

学校卒業後20年間のライフイベント表＆キャッシュフロー表を作成してみましょう。ライフイベントも収入、支出も予想でOK。様々なパターンを作ってみるのもいいでしょう。

＼記入してみよう／

DL 日本FP協会のホームページからダウンロードできます。

＝自分の名前を書くことからスタート！

ライフイベント表	西暦		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
	経過年数（ここに現在の年齢を記入）		卒業	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後	11年後	12年後	13年後	14年後	15年後	16年後	17年後	18年後	19年後	20年後
	家族構成・年齢	（本人）	歳																				
			歳																				
			歳																				
			歳																				
			歳																				
	ライフイベント（家族のイベントを記入）																						
キャッシュフロー表	収入	本人（　　）の手取り収入																					
		（　　）の手取り収入																					
		その他（児童手当等）																					
		収入合計Ⓐ																					
	支出	基本生活費																					
		家賃・管理費等																					
		住宅ローン																					
		奨学金																					
		教育費																					
		保険料（こども保険含む）																					
		旅行・帰省・交際費等																					
		一時的な支出（イベントにかかる費用はここに記入）																					
		支出合計Ⓑ																					
	年間収支Ⓐ－Ⓑ																						
	貯蓄残高（各年の貯蓄残高＝前年の貯蓄残高＋当年の年間収支で計算）																						